

福井県 高校入試情報

令和7年度福井県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- A問題は、大問5問、小問23問、B問題は、大問5問、小問21問でほぼ例年どおり。
- A問題の大問1は小問集合、大問2は相似、空間図形、大問3は円と確率、大問4は規則性(図形)、大問5は関数の総合問題。
- B問題の大問1は小問集合、大問2は円と確率、大問3は規則性(図形)、大問4は関数の総合問題、大問5は円と相似の証明を含む平面図形の総合問題。
- A問題は基礎力を問う問題の割合が多く、B問題は記述問題の割合が高い。
- AとBで、四つの大問が共通問題となっている。
- 例年どおり、ほぼ全問題で途中計算や過程を記述する形式であった。

★福井県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 作図問題の出題

・作図の問題が例年出題されており、いろいろなパターンの問題があるので、対策が必要である。

新研究で対策！

●「ウォームアップ特集 作図」(p. 32～33)、「基本を使おう！いろいろな作図」(p. 170～171)で、基本となる作図から、よく問われる定番問題まで、作図のポイントを分かりやすく解説しています。

■ 関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、1次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。
動点と面積の変化の問題にも対応できるように、対策しておきたい。

新研究で対策！

●「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」(p. 180～181)、「チャレンジ！関数と図形の融合問題」(p. 184～185)で、応用問題を解く力をつけることができます。

解答過程を書く問題が多く出題されるので、日頃から解き方をきちんと書く習慣をつけましょう。



★福井県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
		A	B	A	B	A	B	A	B
1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●	●	●	●	●
	文字と式			●	●	●	●	●	●
	方程式					●	●		
	比例と反比例								
	平面図形	●	●	●	●	●	●	●	●
	空間図形					●	●	●	
	データの分析と活用	●	●			●	●	●	●
	式の計算	●	●	●	●	●	●	●	●
	連立方程式	●	●	●	●	●	●	●	●
	1次関数	●	●			●	●	●	●
	図形の調べ方		●	●	●	●	●	●	●
	三角形								
	平行四辺形		●			●			
	確率	●	●	●	●	●	●	●	●
2年内容	データの比較と箱ひげ図			●		●	●	●	●
	式の計算	●	●	●	●	●	●	●	●
	平方根	●		●	●	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	●	●	●	●
	相似な図形	●	●		●		●	●	●
	円の性質		●		●	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●	●	●	●	●
	標本調査								
	式の利用								
3年内容	式の計算	●	●	●	●	●	●	●	●
	平方根	●		●	●	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	●	●	●	●
	相似な図形	●	●		●		●	●	●
	円の性質		●		●	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●	●	●	●	●
	標本調査								
	式の利用								
	式の利用								
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5	5	5	5	5
	小問数	27	23	23	22	23	22	23	21
	記述問題								
	図形の証明(説明)		1		1		1		1
	その他の説明・証明など	1	3	2	3	1	2	1	1
	立式・解法の過程の記述	22	17	19	17	19	18	17	18
	作図(図形)	1	1	1	1	1	1	1	1
	作図(グラフ)								
	式の利用								
	式の利用								

★新研究で出題した福井県の入試問題(令和7年度)

p.81大問3,p.115大問2(2),p.175大問1,p.177大問2,p.179大問1